

発行所 全日本建設交運一般労働組合
栃木県本部 〒327-0315
栃木県佐野市吉水駅前1-2-1
0283-62-7312 fax 0283-62-7318
http://www.kenkourou.or.jp/
E-mail:DQJ06744@nifty.com

CTGの建交労とちぎ

西日本豪雨では、広島、岡山、愛媛の組合員から床上浸水等被害が報告されています。取り急ぎ県本部、ダンプ支部（栃の木分会）では緊急カンパ金を送ることを決定しました。

県・県警に現場の実態訴える 第25回ダンプキャラバン栃木行動



「碎石工場の生産力低下によってダンプ労働者は2~3時間待機を強いられている」と訴える工藤委員長（右）。

酷暑が続く七月十九日、栃木ダンプ支部代表十二名は、栃木県、栃木県警察本部に要請を行いました。西日本豪雨災害では、市民の命と財産を守る防災・減災工事のあり方が問われています。本県でも最優先に取り組みよう要請しました。

豪雨災害対策こそ優先課題

毎年豪雨災害が多発していき、全国的に防災対策は最重要課題です。

今回西日本を中心に発生した豪雨災害、被害拡大の背景には、建設業界の構造的な問題があります。

政府は「国土強靱化計画」なるものを作成し、河川や海岸堤防の整備などを掲

げています。しかし、地域の建設業者は深刻な人手不足が続く、対策工事が進まない状況があります。ダンプを含め建設労働者の労働条件改善は防災対策上も最重要課題です。



栃木県警が派遣された広島県熊野町の豪雨災害現場

合材職場分会で要求討議 NIPPOはダンプに利益還元を

栃木県も建設産業の担い手育成のため、六年連続で設計労務単価を引上げています。しかし、現場は改善されていません。県は組合の要請に基づき、毎年県内各土木事務所で一斉に現場での実態調査を実施しています。今年も五月にダンプ持ち込み労働者と運転手合計七十四人から単価と建退共の貼付実態について調査し結果を報告しました。

参加した組合員は「県の調査は業者の過大なピンハネ防止にはなるが、調査方法にまだ問題がある」「県発注工事で特定の白ナンバーダンプが排除された。建設業界に白ナンバーでも問題ないという県の見解が周知されていない」と指摘、引き続き連携して業界の改善に取り組むことを確認しました。

NIPPO壬生分会と塩谷分会が職場会議を開催しました。壬生分会では、休憩時間も確保できない過密運行が増え、配車の改善などを求めることを確認しました。塩谷分会では、約8%の常用単価の改善を実現したものの、仕事量が激減しています。業界最大のNIPPOですが、塩谷工場では営業力が弱く、他社に地元の仕事まで奪われています。現場の実態を本社、支店に訴える予定です。

道路点検活動情報募集中
プだけを検挙するつもりではない。ダンプの取締りにあたっては、悪質性、危険性の高いものから検挙するよう指導している」と回答



組合で要請した栃木市藤岡町の「サーフィンロード」8月末まで改修工事予定。ご協力お願いします。



職場会議で要求討議するNIPPO塩谷分会の組合員。

古い自動車への増税に納得しない男の進行形連載 自動車税払わん③

未納を続けると車検が取れないという重大かつ当たり前の事実には気が付きました。

幸い車検の期限は来年一〇月、それまでに栃木県知事に「わかりました。増税部分は払わなくて結構です」と英断を下していただくために審査請求を申し立てようと考えます。

ところが、この話を知人の地方公務員にしたところ「えーん(泣)」

「えーん(泣)」とつぶやく。確かにそうなのでは。選挙で選ばれた国民の代表が国会で決めた法律です。行政にさじ加減する権限などないわけです。

佐野ラーメン放浪記⑱

【北むら食堂】

佐野市田沼町703
定休日 月曜日



北むらにハズレなし!



「地元のラーメン屋でお勧めは?」「北むらの塩タンタンメン!」さすがシブイ。いきなり「北むら」がでるところがエライ。

組合員須永さん(ライメン通)に聞きました。

「万」や「おぐら」

豪雨災害人ごとではありません。自然災害には全労済の「住まい共済」組合で入れます。

それぞれ保険会社がバラバラで損してる!?

父の車両は A社保険

母の車両は B社保険

息子の車両は C社保険

ご家族で車を複数台所有なら、

自動車保険をまとめてお得!

2台所有の場合 3% 割引	3~5台所有の場合 4% 割引	6台以上所有の場合 6% 割引
-------------------------	---------------------------	---------------------------

損保ジャパン日本興亜は、まとめ得!

さらに契約者が組合員なら集団割引適用も お問い合わせください

大工も担い手不足深刻です

【組合員紹介】

工藤貴幸さん(40歳)



先月号に続き今月も八チマキの似合う男



狙いが外れて貴痛一つ!

大手ハウスメーカー専属大工工藤貴幸さんを紹介致します。

「若いころは青森市内で親の仕事手伝ってました。プロパンガスの配達とかストーブの解体掃除大工は二〇歳からです、最初は冬だけの出稼ぎで来てたけど、結婚して子どもも出来て、三〇歳の頃大工仲間誘われて栃

木に家族で移住しました。

大工の世界も分業化が進んで、技術講習を受ける認定制度があります。人手不足は深刻で七〇歳代の高齢職人や外国人労働者も増えてます。足場屋は特に外国人が多いけど相当ハードに働いてますね。

いまのハウスメーカーは現場の管理が徹底してます。いつもお客さんが見に来ていいように、掃除だけでなく現場内の草取りもやります。もちろん敷地内でのタバコは厳禁、くわえたばこで仕事なんて過去の話です。お盆は帰省します。おふくろがいるんで孫の顔見せに帰ります」。